



## 当事者の声が動かした！ 不登校対策 一歩前進！



3月議会で委員会条例改正を提案するふじばやし。  
議会運営委員長として議会改革を進めています。

2025年度予算 がつきました。

【新規】フリースクール利用開始の時に3万円を助成→90万円  
経済的にきびしいご家庭の子どもさんのフリースクール利用を後押し。金額は不十分ですが、助成が始まるのが大事とふじばやしは評価しています。

【新規】オンラインで学習やコミュニケーションができる→611万円  
オンラインでつながるといふ選択肢を増やします。1年間のうち、1回も登校できない、フリースクールにもいかない、訪問しても会えない子が20人います。

【新規】定時制・通信制高校等説明会→14万円  
親の会などの取り組みが中学生たちに好評なので、市が予算をつけて、市民団体と協働で行います。

【拡大】小学校における児童支援サポーター配置→3,173万円

## 不登校への取組は学校を変えるはずだ

9年前に教育機会確保法ができて、登校という結果のみを目標にするのではなく、子どもが自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することをめざすように変わりました。久留米市では、関係者と協議の場を設け、「不登校対応方針」を昨年3月につくりました。

さらに、多様な学びを保障するために、来年度予算に新たな事業や事業拡大が盛り込まれました。

予算委員会では、「当事者の声をきいて」「子どもの権利」「多様な学び」という言葉が、



釜戸でご飯を炊く子どもたち（フリースクール 未来学舎）

「不登校経験者や保護者など当事者の声が動かした」と思います。

また、たくさんの議員が不登校の質問をするようになったことは、嬉しいです。

そして、これから大切なのは、「不登校の子の支援」だけではなくて、不登校の子の支援やフリースクールから見えてきた学校の課題をフィードバックして、学校が変わっていくことです。

これから、そのことにも取り組んでいきます。

### 不登校について ふじばやしの質問

令和4年9月定例会  
18分50秒から

令和4年3月定例会  
32分から



# 農業は、久留米の基幹産業 「小さな農業」も「稼げる農業」も 両方支援を!

1月の経済常任委員会で「食料・農業・農村基本計画」について議論しました。



## ●女性の参画をもっと!

認定農業者に占める女性の割合が6.4%で横ばいで、目標の10%に届いてないことは問題。

## ●有機農業をすすめてほしい!

有機農業を望む消費者は、価格が高くてその理由に納得して市外の農家から購入している。農家にこの消費者ニーズを市が仲介して伝えてほしい。オーガニック給食に可能な範囲で取り組んでほしい。

## ●農業を地域福祉活動などに生かせるよう市内連携してほしい。

## 農業を始めたい人への応援を!!

3月の補正予算審議で「将来を担う農業者育成事業」の減額補正について



新規就農者への補助金を使う人が、予定より少なかった理由は?

市 農業を始めたい意欲のある方はいるが、農地が見つからなかったり、ハウスなどの資材価格の高騰のため就農できずにいる。

もったいないことです。JAや農業者等の協力を得て意欲のある人が早く就農できるようにさらに支援を強化してほしい。

### 経済常任委員会

1時間54分から  
ふじばやし発言



10分から  
ふじばやしの質疑

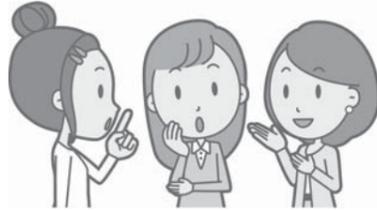


## ふじばやし期待の新規事業 DV被害者、ひとり親家庭に 新たな支援始まる

### ■DV被害者のための

オープンシェルター→299万円  
DV支援の民間団体の取り組みに補助します。

DV(ドメスティックバイオレンス)から逃げるかどうかまだ決断してない女性に居場所と相談支援を行います。



■母子生活支援施設を廃止し、一般住宅への訪問支援に切り替えます。ひとり親世帯のニーズに合わせたものに支援方法を変えていきます。よい事業だと思います。

DVやひとり親家庭でお困りの方は藤林にご相談を



## ふじばやしの要望、実現!! 子どものショートステイを 近所の里親で

今までは、親が病気や出産、育児疲れなどの時の預け先は、遠くの乳児院、養護施設だけでした。これからは、近所に里親さんがいれば、車がない人でも連れて行けます。子どもも家庭的な雰囲気の中で過ごせます。いつもの学校や保育園に通えて安心です。

これを機に里親の啓発を市でもっと進めてほしいと要望しています。



子どもの  
ショートステイとは

里親になって  
みようかなという方へ



## ふじばやしの注目事業

■学校の水泳授業を民間スイミングスクールに委託(5校)  
1775万円

■医療的ケアの必要な人の避難所整備159万円

■困窮世帯の子どもの無料塾を、高校生まで拡大1643万円

■日本語サポートが必要な子どもへの支援1831万円



## 人口30万人割ったことは問題? ひとり暮らしが増えてることも注目を!

2月1日の久留米市民は、29万9663人。30万人を割ると、11億8600万円の事業所税が市の収入から減りますので、財政への影響が出ます。

人口減少のなかでも特に子どもの数が減り、人口減でも世帯数は増加していることが特徴です。つまりひとり暮らしの人や家族の支えがない人が増えています。



市民の家族構成の変化に合わせて、行政サービスを変えていかなければならないと思います。



## ふじばやし あっちこっち

### 1月

- 5日 魚市場、青果市場の初せりに来賓出席  
◆子ども理解を深める連続講座「親子まごころ支援 フランスの届ける福祉」◆身体障害者福祉協会の新年会に出席
- 6日~8日 経済常任委員会視察(大阪市、守谷市)
- 12日 長門石校区成人式インドネシアの方も出席



- 13日 消防出初式
- 15日~16日 「障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク」でおおむたアリーナのバリアフリーを視察
- 18日 ◆盲ろう者の避難訓練 ◆ミヤンマーについての講演会に参加
- 21日~22日 空き家対策についてのセミナーに参加(東京)「家電や自動車がりサイクル法ができたように空き家解体の産業化が必要」
- 「DIY向け中古住宅市場の育成」等、学びが多かった。

### 2月

- 1日 ◆長門石校区なるほど人権セミナー。小学生の発表の後、映画「破戒」を鑑賞 ◆子ども理解を深めるための連続講座。トラウマ治療についてのお話
- 2日 ◆居住支援協議会のシンポジウム。湯浅誠さんの講演
- 9日 シニアアート展
- 11日 ◆信教の自由を守る集会に参加(久留米東町教会) ◆キラリマルシエで、いろんな障害者の事業所の商品を購入(六角堂広場)
- 13日 通信を駅前配布

- 14日 ◆連合の春闘開始宣言集会に参加。◆ヤングケアラー支援の研修。元ヤングケアラーの方の「誰にも家のことを話せなかった」という体験談を聞き、支援の充実が必要と思った。
- 15日 日本商工会議所青年部全国大会に来賓出席(久留米アリーナ)
- 16日 青少年育成駅伝大会
- 22日 基山のピクニックの作品展



24日 パラテコンドーの田中光哉選手が子どもたちを指導



1日 南筑高校卒業式

8日 城南中卒業式



9日 重い障害のある人の移行期や防災について講演とシンポジウム。能登地震のときの障害児の状況を話された。
- 15日 デフリンピック女子サッカー日本代表久住呂文華くじゅらあやか選手のお話を聴く。



15日 「藍愛出逢い」フェスティバル 郡山市の物産コーナー



20日 青峰小学校閉校式に来賓出席

22日 ちくご川コミュニティ財団主催「誰ひとり取り残さない居場所づくり」学びの場における子ども若者の孤立解消と育成事業成果報告会に参加

23日 音楽集団「Eオケ」の音楽会(南筑高校)

# 生活保護 終わりました

藤林さんに報告したかったんです

と、Aさんからきいて、後日Aさんのご自宅でお話をうかがいました。

Q 生活保護を申請したときの状況は？

Aさん 母が年に何度も入院し、治療費が払えず親戚に借金しました。姉も病気で働けず、私はホテルと鉄工所と介護施設で働いていました。働き過ぎで体調をくずしても、経済的に苦しくて病院に行けませんでした。

藤林 Aさんから相談を受け、生活保護を勧めました。生活保護で病院に行くことができ、体調も回復されましたね。

Aさん あのときはきつかったあ。もっと早く申請すればよかったです。そうすれば、早く病気を治して生活を立て直せたと思います。

Q 生活保護をやめた理由は？

Aさん ここ数年は、生活保護は、1万円と医療費だけになってきました。昨年65歳になって私が年金をもらうようになりました。ヘルパーの仕事と姉の年金と合わせれば、節約すればやっとなりまして。12年間お世話になりました。

藤林 市営住宅に引っ越して家賃の負担も少なくなりましたね。

Q 今の気持ちは？

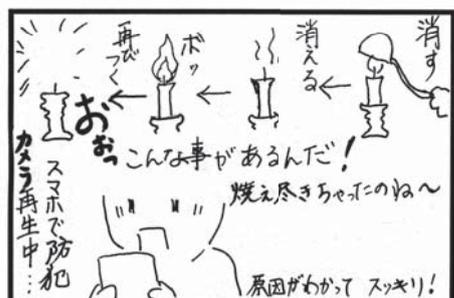
Aさん 不安はありません。私には貯蓄が全くないんです。もし何かあったとき、医療費のことが心配です。今は姉の通院だけですが、私や姉が入院したら、どうなるのか・・・どうしようもなくなくなったら、また生活保護を申請するつもりです。

Q みなさんに伝えたいことは？

Aさん 働いて、足りない分だけ、生活保護をもらってる人もいることを知ってほしいです。「生活保護の人は働かないで遊んで暮らして、月に十何万ももらっている」と話してる人がいました。私は、毎月収入の書類を1円単位で市役所に提出し、足りない分だけもらっています。調査もされます。皆さんに分かってほしいです。

それから、困った時には、一人で頑張らず、介護や生活保護の相談をしてください。無理しないで自分を大切にしてください。

【インタビュー】 M編集長



## おすすめの 本

著者 渋沢 寿一  
出版社 大和書房

著者は、1万円札の顔、渋沢栄一氏のひ孫です。3月8日に「みんな」で著者の講演を聴きました。渋沢栄一の「論語と算盤」をもじったタイトルです。内容も栄一の考えと似ていて「有限な地球と経済の共存」がテーマです。



講演する渋沢寿一さん

幸せは「今だけ、お金だけ、自分だけ」では得られない。足るを知り、共感をベースにした社会で、労働生産性から資源生産性への転換が幸せにつながると書いてあります。その通り!と思います。



Aさんが生活保護で病院にかかることができて、顔色がよくなり、久しぶりに見た笑顔を覚えています。トリプルワークで本当にきつかったと思います。非正規雇用を3つかけもちしても、社会保険はありませんでした。

日本の生活保護の捕捉率は20%、フランスの捕捉率は95%です。【捕捉率：生活保護基準以下で暮らす人のうち、生活保護をもらってる人の割合】

昨年7月の久留米市の生活保護受給者は6,483人なので、25,932人の方が生活保護基準以下で暮らしていると推測されます。

これは、大きな社会問題です。生活保護への偏見や申請する時のハードルの高さが問題です。

「生活保護の申請は、国民の権利です。ためらわずに相談を」  
久留米市のホームページより →  
生活支援第1課 電話：0942-30-9023

